

浦和大門サッカー少年団 招待大会



第11回「はばたき杯」



期日 2026年3月1日(日)

場所 さいたま市立大門小学校グラウンド



大門招待「第11回 はばたき杯」大会実施要項

- ① 主 催 (公財)さいたま市スポーツ協会
- ② 主 管 浦和大門サッカー少年団
- ③ 協 力 浦和大門サッカー少年団保護者会
- ④ 期 日 2026年3月1日(日曜日)
※開会式なし。各チーム試合時間に間合う様お願いします。
- ⑤ 会 場 さいたま市立大門小学校グラウンド
- ⑥ 参加費 1チーム8,000円
- ⑦ 参加資格 小学校6年生以下、スポーツ障害保険に加入済みである事、
保護者の承諾を得ている事
- ⑧ 競技方法
 1. 競技規則は日本サッカー協会競技規則 2025/26に準ずる
 2. 11人制サッカー ※サイレントルール採用(次項参照)
 3. 特にメンバー登録はなく、自由な交代とし参加選手が全試合に出場する
※各チームの参加選手出場時間は、各試合ごとハーフ以上とする
 4. 使用球は4号縫いボールとする
 5. 審判は各チーム1人帯同とする
 6. 警告、退場については当該試合のみ、次戦に持ち越さない
 7. 試合時間は予選リーグ40分(20-5-20)延長戦なし
順位決定戦は30分(15-5-15)、決勝は40分(20-5-20)
延長戦は行わずPK戦にて順位を決定する
 8. 予選リーグの順位決定方法
(1)勝点 (2)得失点差 (3)総得点 (4)対戦結果 (5)PK戦
 9. 参加6チームを2グループに分け予選リーグを行う
各グループの同順位による順位決定戦および決勝戦を行う
- ⑨ 大会参加チーム 神根東、美谷本、別所、大久保、土合、大門 計6チーム
- ⑩ 表 彰 優勝、準優勝、3位、4位(敢闘賞)、5位(健闘賞)、6位(はばたき賞)
全チームにトロフィーと賞状を授与
最優秀選手賞(1名)に盾、優秀選手賞(各チーム2名)にメダルの授与
- ⑪ その他 大会中のケガや事故等については各チームの責任でお願いします。
各チーム駐車台数は8台まで。(※8:00以降の来場)
※天候不良などにより大会中止する場合は、朝7時までに各チーム代表者に、連絡します。

連絡先 浦和大門サッカー少年団 担当 熊谷 Tel携帯 090-7412-0402

【はばたき杯について】

大会名を「はばたき杯」としているのは、次世代に大きく羽ばたいて欲しいという思いから。8人制ルールが主な四種世代ですが、次世代から11人制となるため、「はばたき杯」を次世代へつなぐ大会とするべく、サッカー本来の11人制としています。

【サイレントルール】

次世代へ「はばたく」ことを目的とした大会です。4種世代終わりの時期の大会ですが、指導者、保護者は、子供たちのプレー・成長を見守り、応援し、楽しむという思いから、サイレントルールを採用します。

各チーム、指導者、保護者に、この大会趣旨を周知・理解していただき、純粋に、子供たちは仲間とサッカーをプレーする喜びを感じ、保護者は応援する喜びを感じていただける様な大会にしたいと思います。ご理解、ご協力をお願いします。

【子供たちが行う事】

- ・ウォーミングアップ
- ・スターティングメンバー、ポジション、作戦の決定
- ・選手交代

※試合ごとに大会参加各チーム選手全員が出場すること

※各チーム参加選手の出場時間は、各試合のハーフ以上とすること

- ・ハーフタイムのミーティング

※ベンチに指導者は入れません。(ベンチから少し離れた場所で、タイムキーパーとゲーム中に負傷した場合の介護などをお願いします)

【選手入場セレモニー】※順位決定戦のみ

卒団間際の大会です。子供との思い出に選手入場時のセレモニーを保護者も参加していただきたいと思います。

保護者の皆様または指導者におかれましては、エスコートキッズのイメージで一緒に入場していただき、子供と同じ目線でセレモニーを体感してください。

※記念撮影、円陣等を行ってください。

指導者、保護者の皆様、子供たちの成長を感じて、この大会を楽しんでいただきたいと思います。大会後にご意見や感想を頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。

【試合日程およびグループ成績表】

A グループ	チーム名	大門	神根東	大久保	勝点	得点	失点	得失点	順位
	大門								
	神根東								
	大久保								

B グループ	チーム名	別所	美谷本	土合	勝点	得点	失点	得失点	順位
	別所								
	美谷本								
	土合								

	グループ	キックオフ	対 戦 チ ー ム			主審	副審
①	A	9:00	大門	—	神根東	別所	当該
②	B	9:50	別所	—	美谷本	大門	当該
③	A	10:40	大久保	—	神根東	美谷本	当該
④	B	11:30	美谷本	—	土合	神根東	当該
⑤	A	12:20	大門	—	大久保	土合	当該
⑥	B	13:10	別所	—	土合	大久保	当該
⑦	5位決定	14:00		—		大門	決勝 2チーム
⑧	3位決定	14:50		—		大門	5位決定 2チーム
⑨	決勝	15:40		—		大門	3位決定 2チーム

第11回 はばたき杯

チーム名

ふりがな

優秀選手

ふりがな

優秀選手

ふりがな

最優秀選手

※優勝チームのみ

【大会結果】※全てのチームにトロフィー・賞状を授与

優勝 :

準優勝 :

3位 :

敢闘賞(4位) :

健闘賞(5位) :

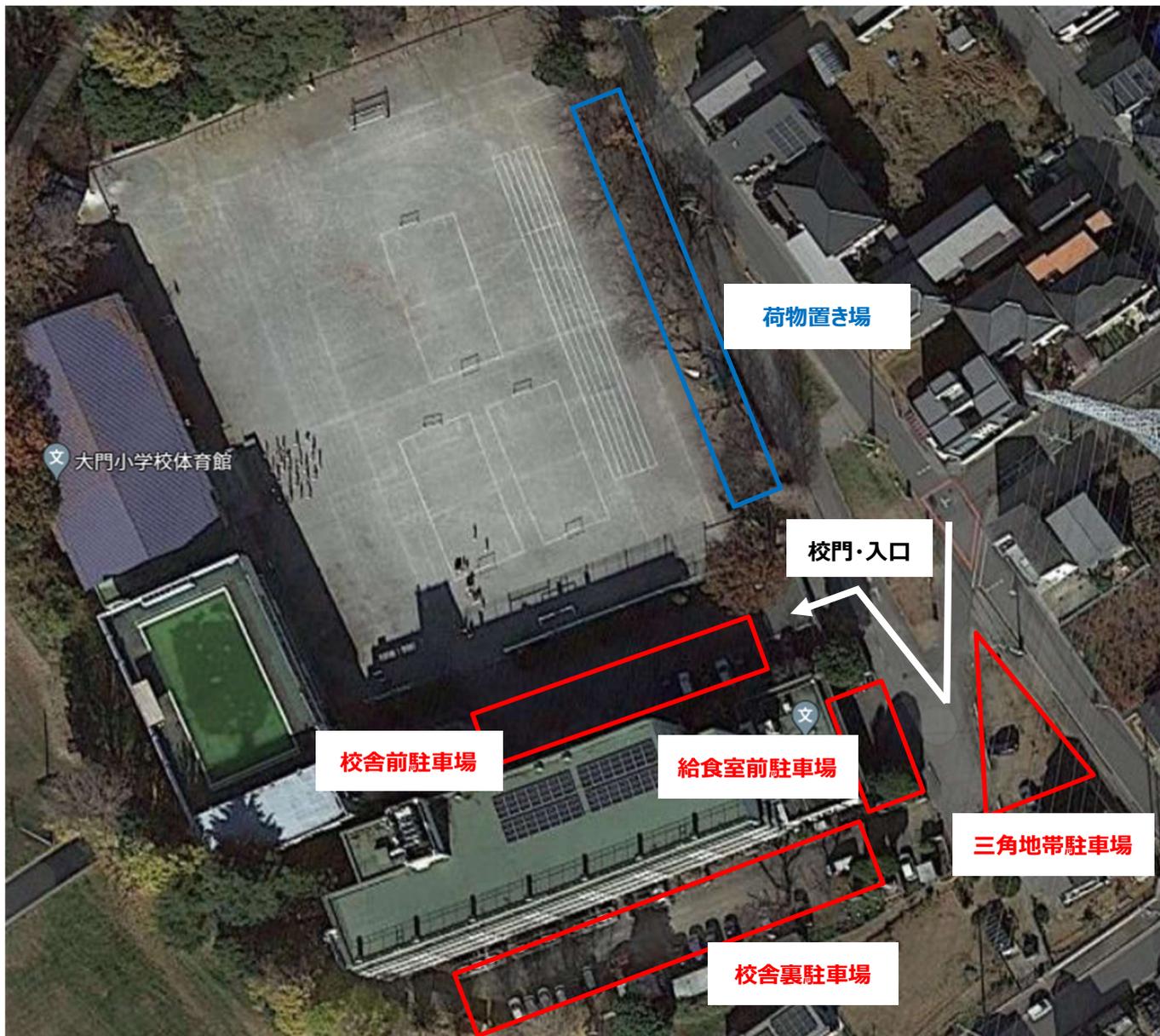
はばたき賞(6位):



さいたま市立大門小学校案内図

浦和大門サッカー少年団

- 会場：さいたま市立大門小学校（さいたま市緑区大門 1189）
- 会場案内図：下図参照



- 注意事項：
 - 駐車場所は当日会場にてお伝え致します。
 - 周辺道路への路上駐車はお控えください。
 - 学校敷地内及び校門前、周辺道路は**禁煙**となります。喫煙はご遠慮ください。（※学校に通報されてしまいます）
 - ゴミ等は各チームにてお持ち帰りください。

指導者も保護者も口出しなし 少年サッカー大会の試みは

編集委員・中小路徹 2018年11月14日13時57分



サイレントカップで、ハーフタイムに後半のフォーメーションを確認する子どもたち



指導者や保護者は口出しせず、黙っている——そんな少年サッカー大会が、愛知県で定期的に行われている。その名もサイレントカップ。子どもたちの主体性を高め、問題解決能力やコミュニケーション能力を養おうという試みだ。

10月21日、愛知県東浦町の多目的広場に、西三河地区の地域クラブを中心とする小学5年の8チームが集った。

ハーフタイム。「疲れてできない人はいる？」と、キャプテンが交代希望を聞いているチームもあれば、「もっとサイドを使おうよ」と修正点を言い合っているチームもあった。

サイレントカップを主催するのは、刈谷市のワイヴァンFC。クラブダイレクターの今久保隆博さんは、始めたきっかけを「どの試合も監督やコーチが子どもたちを先導し、多くの指示が飛び交う。ミスを指摘され、ベンチに下げられた子どもが叱責（しっせき）を受ける。そんな様子に疑問を感じた」と振り返る。「子どもはこの年代からアクティブに取り組むことでこそ、サッカー以外の部分を含めて将来の適応能力がつく。そして、指導者には普段の練習のあり方を見つめる機会にしてほしい」と話す。

ピッチ脇に大人は入れず

ピッチ脇に大人は入れない。ハーフタイムのミーティングや選手交代はもちろん、試合前のウォーミングアップや先発メンバーの決定、作戦など、試合に関わるすべてを子どもたちに預ける。そして、試合に全員が出るのがルールだ。昨年11月に1回目を行い、今回は13回目だった。

名古屋市の守山FCは初参加。子どもたちに感想を聞くと、「味方に何をアドバイスしていいか、わからない」と戸惑いの声が出た。一方、メンバーの決め方は「試合に出る時間を平等にしている」という。

見崎渉コーチは「いつも作戦を授けてしまい、プレーを限定させているかも。もっと任せていいと思った」と話した。岡崎市の細川少年サッカークラブの高野克美監督は「もどかしい」と本音を明かしつつ、普段と違うフォーメーションを選択しているのを見て「固定観念にとらわれていない」と感心した。

試合では、一つの傾向が出る。相手のカウンターを受けての失点が多くなるのだ。指導者の指示がないと、スペースを突かれる場面が増える。かつてJ1名古屋で主に育成を担当していた今久保さんは、「守備意識が低いというより、得点をしたいたいという本能的な欲求の表れ」とみている。

大人が黙るサッカーは、子どもたちの主体性だけでなく、得点に結びつくプレーをめざす積極性も育む。（編集委員・中小路徹）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.